

永田クラブ
経済研究会
消費者問題研究会
厚生労働省記者クラブ
農林水産省記者クラブへ貼り出し

公開

平成24年10月18日
内閣府食品安全委員会事務局

食品安全委員会セミナー
「食品中微量成分のリスク評価手法の国際動向」
の開催のお知らせと参加者募集について

食品安全委員会は、下記の要領で、食品安全委員会セミナー「食品中微量成分のリスク評価手法の国際動向」を開催します。併せて参加者の募集を開始しますので、お知らせいたします。

記

化学物質のリスク評価手法における重要な概念の一つに、「毒性学的懸念の閾値(TTC)」があります。これは、化学物質について、ある暴露量以下ではヒトの健康へのリスクを引き起こす確率が極めて低く、包括的な閾値を設定できるという考え方に基づき設定される値のことで、残留農薬のポジティブリスト制度における一律基準の設定等に採用されています。今回は、海外から2名の専門家をお招きし、この分野の国際的な動向について情報提供いただきます（同時通訳付き）。

なお、本セミナーにはどなたでも参加できますが、講演に専門的な内容が含まれていますので、食品衛生に関する一定の知識をお持ちの方を主な対象者と考えております。

1. 開催日時： 平成24年11月20日（火） 10：00 ～ 12：00
（9：30 受付開始）
2. 会場： 食品安全委員会 会議室
（東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22階）
3. 主催： 食品安全委員会
4. 募集人数： 約100名
5. 参加費： 無料

6. プログラム（予定） 別添1 参照

7. 参加者の募集（報道関係者は「8. 報道関係者の皆様へ」を御覧ください。）

食品安全委員会ホームページ（<http://www.fsc.go.jp>）において
10月18日（木）17:00から受付開始します。

参加を御希望の方は、別添2の参加申込書に下記項目を御記入の上、
FAX又はインターネットでお申し込みください。

- ① 氏名（フリガナ）
- ② 参加証送付先FAX番号またはEメールアドレス
- ③ 電話番号
- ④ 勤務先

希望者が多い場合は、先着順で締め切らせていただく場合がありますので御了承ください。

申込締切： 平成24年11月13日（火） 17:00

申込先：

FAXでの御応募 03-3545-3610

インターネットでの御応募

（<https://www.p-unique.co.jp/ttc20121120/>）

- ・ 参加の可否は、「参加証」のFAX又は電子メール送信により、御連絡いたします。
- ・ 参加証は、本セミナー当日に、会場受付で御提示ください。
（なお、参加証をお忘れになった場合等は、身分を証明するもの（運転免許証、健康保険証、社員証など）を御提示いただきますので、御注意ください。）
- ・ 参加申込のさいに御記入いただく項目については、当方から必要に応じて御連絡させていただく場合があるほか、会場での参加確認や、どのような立場の方々が御参加されているのかの把握のために、お尋ねしております。
- ・ 本セミナーはマスコミにすべて公開いたします。発言者・参加者の写真又は映像等が配信・報道される可能性がありますことをあらかじめ御了承ください。

8. 報道関係者の皆様へ

- ・ 本セミナーは公開といたします（カメラ撮り可）。
- ・ 参加を希望される場合は、平成24年11月19日（月）17:00までに、「食品安全委員会セミナー参加希望」を明記し、下記項目を御記入の上、「7. 参加者の募集」に記載されている申込先まで御連絡ください。（様式は自由）
 1. 会社名
 2. 氏名
 3. TVカメラの有無
 4. 電話番号
 5. FAX番号
 6. 住所
 7. 参加人数

【本件に関する問い合わせ先】

食品安全委員会セミナー事務局

TEL 03-3545-3571（受付時間10:00～17:00 土日・祝日除く）

（業務管理委託先：株式会社プロセスユニーク 責任者：中村）

食品安全委員会について（<http://www.fsc.go.jp/>）

食品安全委員会（委員長：熊谷進（くまがい・すすむ））は、食品中に含まれる農薬や食品添加物などが健康に及ぼす影響を、科学的に評価する機関（リスク評価機関）です。7名の委員で構成され、12の専門調査会において170名を超える専門委員の協力により、企画等、添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、器具・容器包装、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料の分野のリスク評価等を行っています。

プログラム

食品安全委員会セミナー 「食品中微量成分のリスク評価手法の国際動向」

平成24年11月20日(火)

10:00-10:10	開会
10:10-10:50 (同時通訳)	毒性学的懸念の閾値(TTC)の最新の進歩 (コラド・ロドヴィコ・ガリ教授: ミラノ大学 薬理科学部)
10:50-11:30 (同時通訳)	諸外国での毒性学的懸念の閾値(TTC)の運用状況 (ミッチェル・チーズマン博士: Steptoe & Johnson LLP、元FDA)
11:30-12:00 (同時通訳)	意見交換
12:00	閉会

<備考>

講演中の飲み物について

本セミナーは、講演をお聞きの際にも飲み物をお召し上がりいただけますので、御遠慮なくご持参ください。食べ物類は御遠慮ください。(主催者による飲料等の提供は予定しておりません)

参加申込書

食品安全委員会セミナー
「食品中微量成分のリスク評価手法の国際動向」
(平成24年11月20日(火)開催)

フリガナ ① 氏 名	② 参加証送付先FAX 番号 およびEメールアドレス	③ TEL 番号 (市外局番から記入)	フリガナ ④ 勤務先 所属団体等
	FAX ----- Eメールアドレス		
	FAX ----- Eメールアドレス		
	FAX ----- Eメールアドレス		

該当する番号にひとつだけ○を付けてください。

- 1) 消費者団体(生活協同組合関係者など) 2) 主婦、学生、無職
3) 生産者(農林水産業など) 4) 食品関連事業者・団体(加工、流通、販売など)
5) マスコミ関係者 6) 行政(自治体職員、独立行政法人等職員など)
7) 食品関連研究・教育機関(教員、研究職員など)
8) その他(具体的に御記入ください：)

申込締切：平成24年11月13日(火) 17:00

FAX送信先： 03-3545-3610

食品安全委員会セミナー事務局

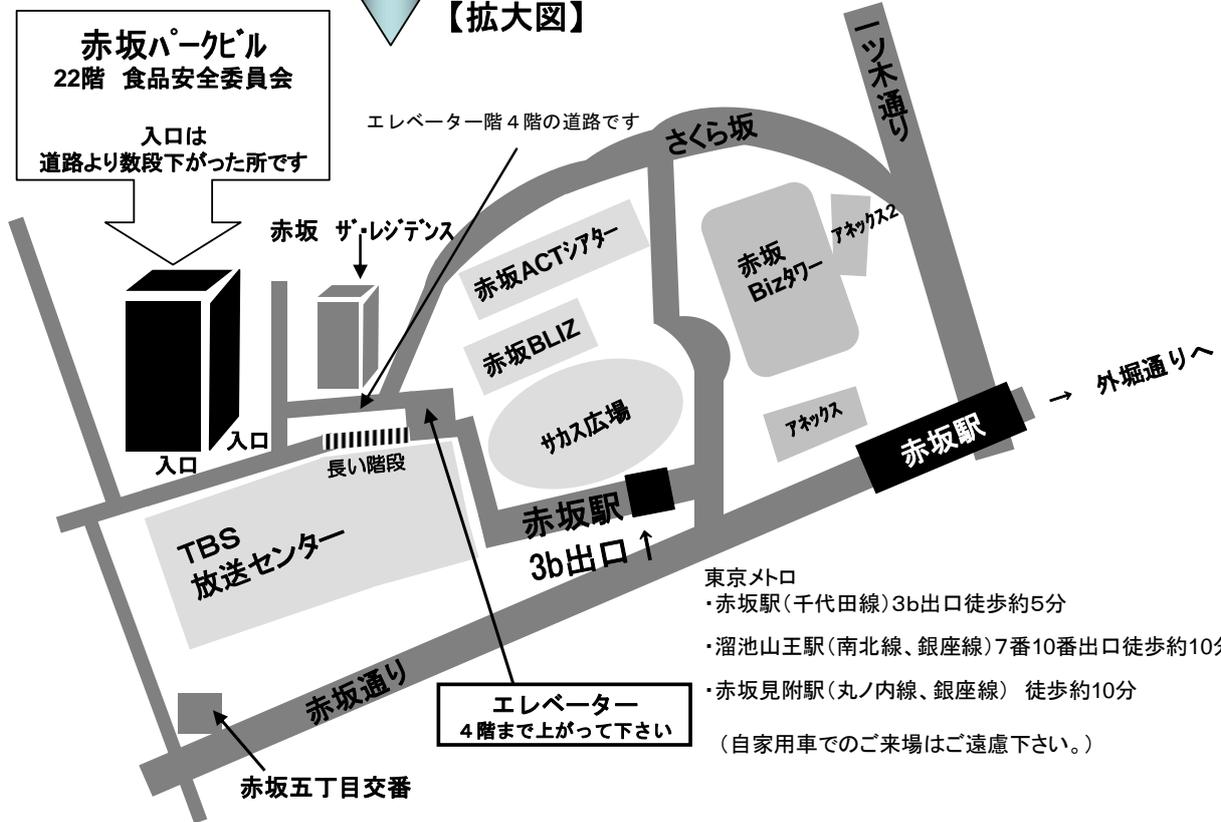
(業務管理委託先：株式会社プロセスユニーク 責任者：中村)

食品安全委員会事務局 地図

(赤坂パークビル22階)



【拡大図】



- 東京メトロ
- ・赤坂駅(千代田線)3b出口徒歩約5分
 - ・溜池山王駅(南北線、銀座線)7番10番出口徒歩約10分
 - ・赤坂見附駅(丸ノ内線、銀座線) 徒歩約10分
- (自家用車でのご来場はご遠慮下さい。)

講演者プロフィール

(参 考)

コラド・ロドヴィコ・ガリ博士 (Prof. Dr. Corrado Lodovico Galli)

ミラノ大学 教授 (薬理科学部)

主な研究領域は、さまざまな化学物質や環境因子 (食品添加物、食品中のアレルゲン、残留農薬、汚染物質等) の存在下での低用量化学物質の暴露を、分子生物学の最新手法 (ゲノミクス、プロテオミクス等) を用いて研究すること。その目的は、化学物質への暴露が被暴露者にどのように影響を及ぼすかを予測する研究を促進することにある。

＜現在および過去に務めた主な科学諮問委員会、委員会、パネル等＞

- 国際がん研究機関 (IARC) 「発がん物質のリスク評価と作用機序」専門家グループ メンバー (IARCは世界保健機関傘下の組織の一つ)
- 欧州食品安全機関 (EFSA) 科学委員会メンバー
- 欧州食品安全機関 (EFSA) 科学委員会の中の、「化学物質評価へのTTC概念の適用可能性に関するワーキンググループ」のメンバー

ミッチェル・チーズマン博士 (Dr. Mitchell Cheeseman)

Steptoe & Johnson LLP ワシントン事務所 取締役、 元FDA 職員

米国食品医薬品庁 (FDA) での 20 年に及ぶ勤務の中では、米国食品安全・応用栄養センター (CFSAN) の幹部をはじめ、食品添加物および食品摂食材料、着色料、GRAS 成分、およびバイオ食品の規制の一義的な責任を伴う“食品成分と容器包装プログラム”を担当した。

チーズマン博士は、TTC の規制への確率論的リスク評価の活用に関するワーキンググループ、ワークショップ、国際会議に招へいされている。発がん性に関係する危険部位構造についてのチーズマン博士の研究は、FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議 (JECFA) によって食品香料の規制に適用され、FDA によって食品摂食材料の規制に適用されている現行の TTC の中のがん閾値にとって、一次的な基盤となっている。